

## (7) 進路・職業観

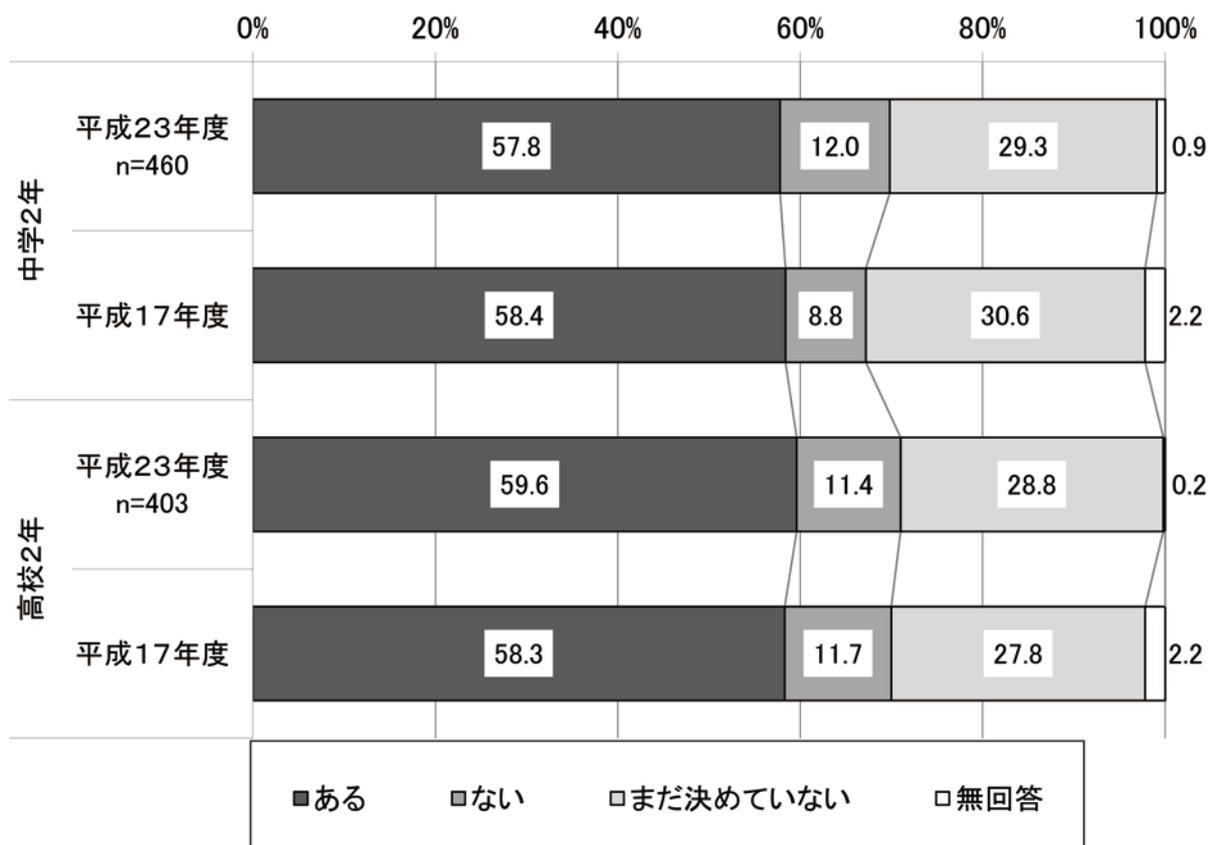
### ▶▶ 1 将来就きたい仕事を決めているか（平成17年度調査との比較）

問  
あなたは、今、なりたい職業・やりたい仕事がありますか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較すると、なりたい職業などが「ある」と回答した高校2年はわずかであるが増加しているが、「まだ決めていない」と回答した高校2年もわずかに増加している。中学2年では「ない」が約3%増加している。

図57

将来就きたい仕事を決めているか（平成17年度調査との比較）



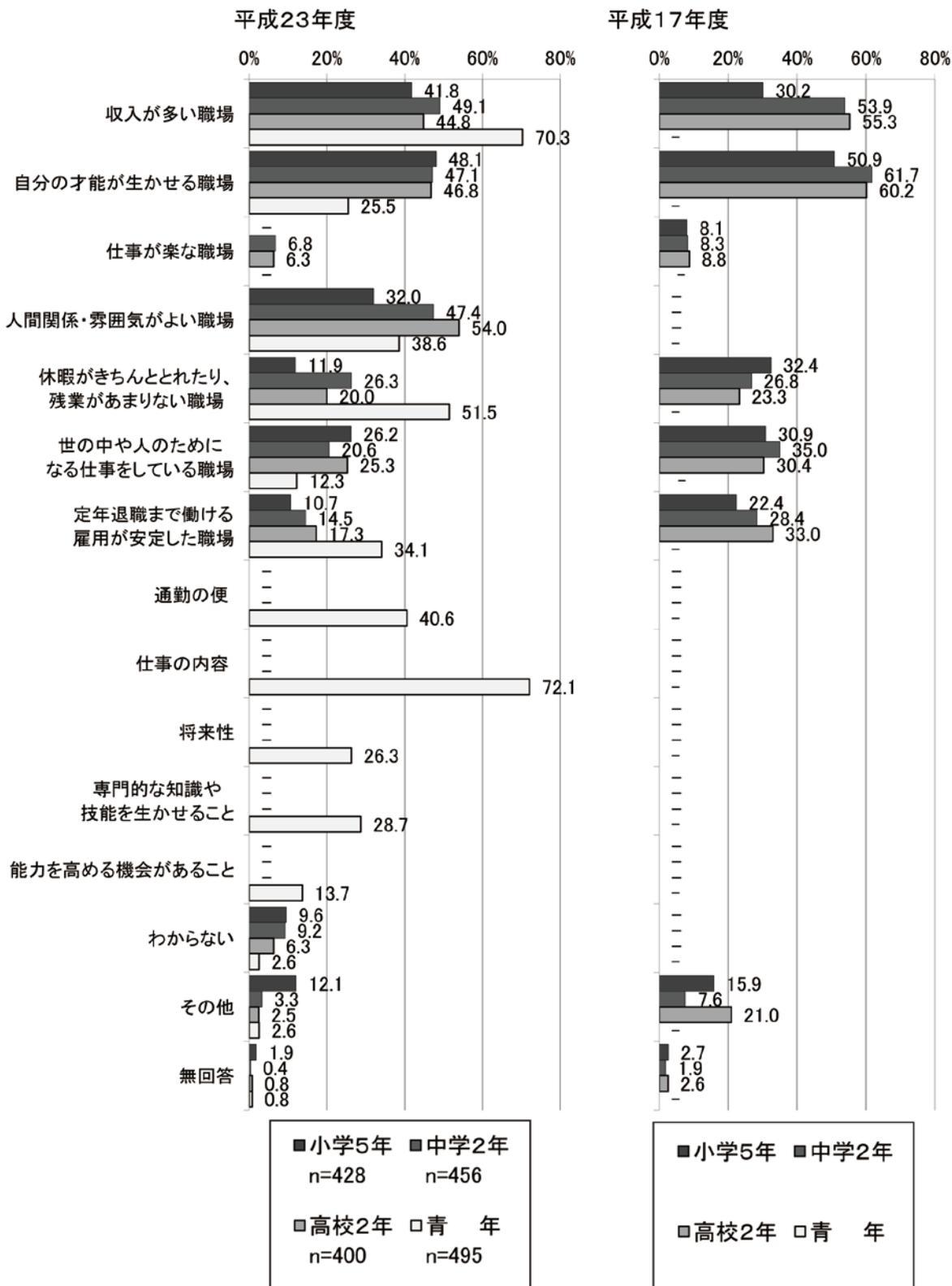
▶▶ 2 職業選択の基準(平成17年度調査との比較)

問  
あなたは、将来どのような職場で働きたいと思いますか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比べると増加している項目は小学5年の「収入が多い職場」である。

図58

職業選択の基準(平成17年度調査との比較)



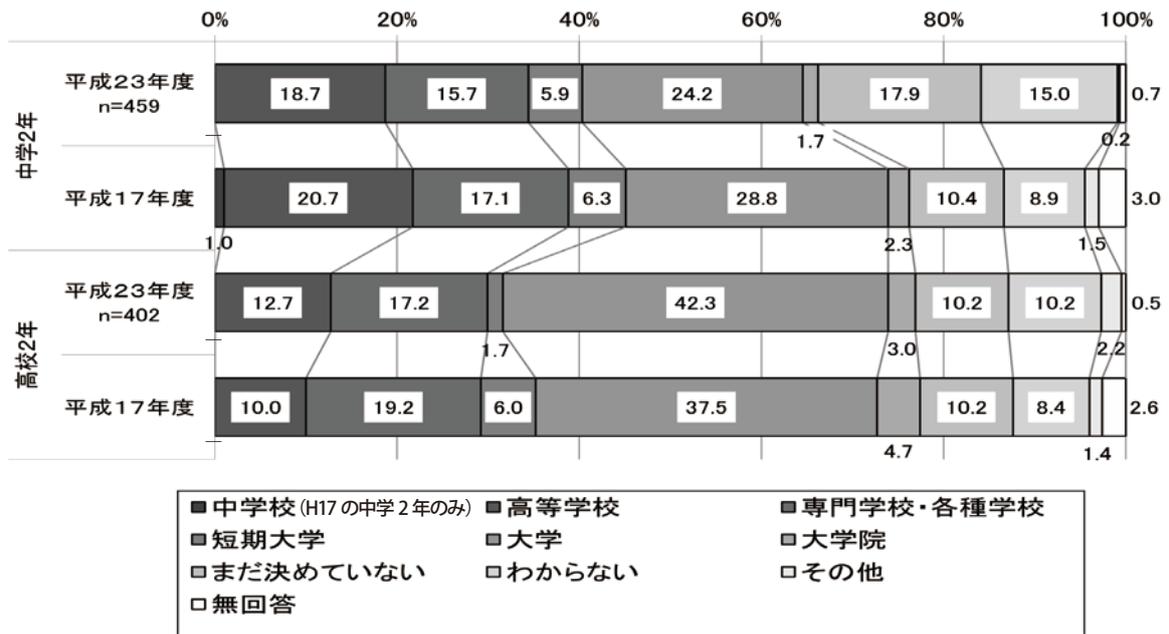
▶▶▶ 3 希望する最終学歴（平成17年度調査との比較）

問  
あなたの進学の最終目標はどこまでですか。当てはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

平成23年度と平成17年度を比較すると、中学2年で増加している項目は「まだ決めていない」と「わからない」である。  
高校2年においては「高等学校」と「大学」、「わからない」が増加している。

図59

希望する最終学歴（平成17年度調査との比較）



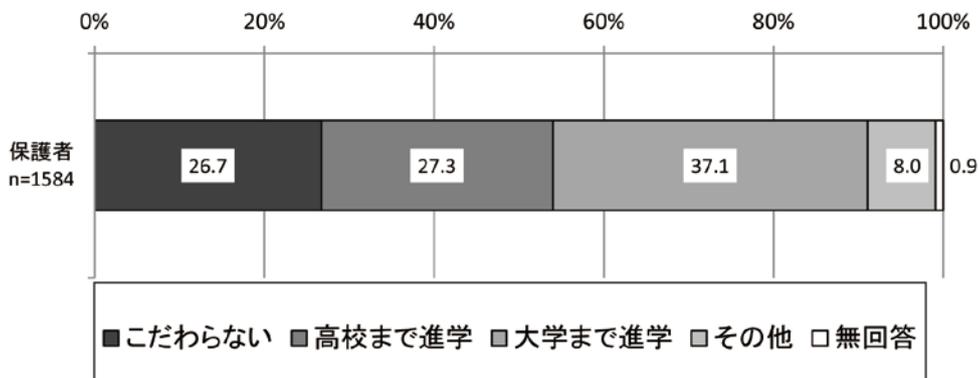
▶▶▶ 4 保護者の子どもの最終学歴に関する意向

問  
あなたは、お子さんの進路について、どう考えていますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

「大学まで進学」と回答した保護者が一番多く、37.1%である。二番目に多いのは「高校まで進学」であり、「こだわらない」と続いている。

図60

保護者の子どもの最終学歴に関する意向



▶▶▶ 5 青年の働くことについての考え方

問  
次の(1)～(4)について、あなた自身にあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)。

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた割合が一番多い項目は、「いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい」で8割近くである。二番目に多い項目は「いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う」で、これも7割を超えている。反対に「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせて一番少なかった項目は、「定職に就かない方が自由でいいと思う」である。

図61

青年の働くことについての考え方

